

平成 30 年 9 月 10 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15H03176

研究課題名(和文) 中国建国前夜のプロパガンダ・メディア表象 劇場文化と身体芸術のコラボレーション

研究課題名(英文) Art of Propaganda Medium before the Foundation of People's Republic of China

研究代表者

星野 幸代 (Hoshino, Yukiyo)

名古屋大学・人文学研究科・教授

研究者番号：00303587

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,300,000円

研究成果の概要(和文)：終戦後、中国人知識人たちは日本軍が引揚げた沿岸部の大都市に大移動し、いち早く出版メディア、演劇、映画のための拠点を築いた。続いて、国共内戦によって香港、台湾へ知識人流出が起きる。この混乱期、実は共産党の文芸路線は未完成であり、文芸においてまだ多様で豊饒な成果があっただけでなく、芸術教育の初期的インフラも整備された過程が明らかになった。

研究成果として学術論文26本、研究発表54件、著書(共著含む)14冊を得た。

研究成果の概要(英文)：After the Sino-Japanese war, a lot of Chinese intellectuals moved to the coastal cities that the Japanese troops had withdrawn. They promptly established bases for publishing media, theater, and movies. Next, due to the civil war between the Kuomintang and the Communist Party, an intellectual outflow to Hong Kong and Taiwan occurred. During this chaotic period, the literary ideology of the Communist party had not completed yet. Therefore, there were diverse and fruitful achievements in physical and visual art as well as in literature. Further, we revealed the process of establishing the initial infrastructure of art education. Finally, we got research results of 26 academic papers, 54 research papers and 14 books (including co-authored).

研究分野：近現代中国文学、日中比較舞踊史

キーワード：中国 プロパガンダ 身体芸術

1. 研究開始当初の背景

平成 24 - 26 年度、当該チームは日中戦期の視聴覚メディア/身体表現芸術(演劇・映画・音楽・舞踊)を対象とし、それらが様々なプロパガンダを載せ、人的ネットワークに従い移動する様を探究してきた。

2. 研究の目的

本研究は上記を発展させ、戦後から中国建国初期まで視野に入れた。終戦を境に、中国内陸から沿岸都市部へ中国知識人が大量に帰還する。新中国への賛同者たちが文化の創造を模索した一方、“漢奸”のレッテルから、或いは国共内戦から逃れようとした知識人は香港、台湾へ移住した。この混乱期、文学界では優れた創作が生まれたことが指摘されている。本研究は知識人大移動を念頭に置きつつ、視聴覚メディア/身体表現芸術を対象とし、それらが中国の行方を争うプロパガンダといかに共鳴・抵抗・妥協・屈服したか、実証的に明らかにすることを目的とした。

3. 研究の方法

対象期間：戦時期も念頭に入れつつ、1945年 8 月(日本敗戦) - 1950 年代初頭(中華人民共和国建国初期)

対象都市/地域：上海、香港・旧満州・北京・台湾

対象とする文化：映画(ニュース、アニメーション含む)、話劇(演劇)、メディア・イベント、舞踊(創作、バレエ、民族舞踊)、音楽(クラシック、ポピュラー、民族音楽)及びそれらの連関

上記に関する紙媒体、ビデオテープ、レコード等の資料調査および当事者へのインタビューを行い、各文化形態について、製作・上演・上映・放送記録及び政治的意図、出版メディアとの関連、人的往来とその波及効果、受容の実態とを検証した。

4. 研究成果

戦時期中国は日本占領区・国民党統治区・共産党勢力区という三つの政治・文化的地図に分かれ、演劇、映画、音楽、漫画、舞踊も

この三地域と戦況に従って、“大日本帝国”(或いはスパイ)/抗日プロパガンダを担った。これらのヴィジュアル重視の伝達性あるいは身体性の強い表現は、容易に、さらに多人数にプロパガンダを伝えることが可能であり、移動漫画隊、移動演劇隊など軽いネットワークにより、極めて効果的なプロパガンダ・メディアとして機能した。

終戦後、上の文芸地図は終焉し、日本軍が引揚げた北京・上海に文化人が大移動した。移動の目的は、大都市にいち早く出版メディア、演劇、映画のための拠点を築くためであった。占領・戦時下から解放され、創作の機運が高まり、一時ながら高質の文芸が生まれた。身体的/視覚的芸術教育のための初期的インフラも文化人の移動ネットワークによって整備されたことを解明した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 26 件)(主なもののみ)
星野幸代、葛西周、楊韜(分担執筆)「特集〇移動するプロパガンダ芸術：日中戦争をめぐる」『JunCture 超域的日本文化研究』第 9 号、名古屋大学「アジアの中の日本文化」研究センター、2018年3月

Yukiyo Hoshino, The Dance for Education in China: Its Transition to Show Business. *Gender, Sexuality, and Sports*. Nagoya University, March 2017. 査読無、4-7.

葛西周「日中戦争期の新作レビューにおける「中国」表象とその背景——宝塚歌劇を中心に」『演劇研究』第40号、早稲田大学演劇博物館、査読有、2017年3月

Hoshino, Yukiyo. Use of Dance to Spread Propaganda during the Sino-Japanese War. *Athens Journal of History*. Vol.2, Issue 3, June 2016. the Athens Institute for Education and Research (ギリシア) 査読有、193-198.

邵迎建「革命、戦争与女性 白薇的『打出

幽灵塔』与張愛玲的『倾城之恋』、『職大学報』第5期、包頭市職工大学(中国)、40-44、査読有、2016

邵迎建「借古喻今：戦時上海の電影策略：從『木蘭從軍』到『万世流芳』『春江遺恨』『抗戰文史研究』第5集、165-176頁、査読有、重慶出版社、2016

晏妮「戦争的記憶和記憶中的戦争 簡論日本電影の戦争表象」、『当代電影』2015年第8期、査読有、81-86頁

星野幸代「日中戦争期における植民地出身の舞踊家 崔承喜、蔡瑞月、李彩娥」、『冽上古典研究』四七 査読有、延世大学(韓国)、456-474頁 2015

〔学会発表〕(計54件)(主なもののみ提示)

邵迎建「『花街』と『春江遺恨』-庶民/権力・宣伝」国際シンポジウム「貫戦期における日中映画」早稲田大学、2018年1月27日
Yukiyo Hoshino. The Relationship between Women's Sport and the Show Business in the 1920th China. International Forum on Asian History and Asian Studies, Athens Institute for Education and Research (ギリシア), 28 June 2017

星野幸代「現代東アジア文学史の国際共同研究」第四回シンポジウム、東京大学 2016年7月30日、「日本・中国・朝鮮・台湾文人の眼差しの中の舞踊家・崔承喜」

邵迎建「菊与刀—中日第一部合拍电影及其他」河南大学外国語学院 2017年10月12日

楊韜「近代日中印刷技術交流史考」、国際学術研究会「全球化時代の人文科学諸項研究 当代中日・東西交流的启发」、北京・中国社会科学院文学研究所、2017年5月26日

Masao Nishimura "Taiwanese Singers on Japanese Popular Music Scene in 1970s," North American Taiwan Studies Association 22nd Annual Conference, University of Toronto, June 2016

Masao Nishimura「日本華僑的流行音楽活動史：以1940年代至1970年代为中心」9th International Conference of the

International Society for the Study of Chinese Overseas, Sheraton Vancouver Airport Hotel, Richmond, July 2016

Yang Tao "Factors of Japan & Germany on the Development of Printing Technology in Modern China", WACS Conference 2017, Witten University, Germany: Witten, August 19, 2017.

晏妮(招待講演)「荒井晴彦の脚本術」大師之光」第二期青年編劇高級研習班 中国吳天明青年映画特別基金(China Film Foundation

WUTIANMING Film Fund for Young Talents)主催 2016年12月5-6日 中国・天津

邵迎建(招待講演)「上海における話劇(1946-49)」『文化空間と文化融合国際シンポジウム』上海社会科学院、上海、2016年8月26日

晏妮(招待講演)「戦後日本映画における中国古典の映画化 日本、大陸、香港、東南アジアに跨る大衆文化の記憶」清華大学・国際日本研究センター共催フォーラム「グローバル時代における東アジアの大衆文化研究」清華大学外国語学部、2016年11月12日

楊韜「近代中国の印刷技術発展史における日本の影響：技術者交流を中心に」、香港公開大学、2016年11月21日

葛西周「「耳の脱植民地化」論再考——日本におけるヴァナキュラー音楽をハワイアンから検討する」日本ポピュラー音楽学会第28回大会、2016年12月4日、立教大学

〔図書〕(計14件)(主なもののみ提示)

星野幸代『日中戦争下のモダンダンス 交錯するプロパガンダ』汲古書院、2018年2月

邵迎建、星野幸代、西村正男ほか23名『越境する中国文学 新たな冒険を求めて』(共著)「越境する中国文学」刊行委員会 2018年1月

楊韜『メディアというプリズム：映し出す中国・日本・台湾の歴史と社会』、晃洋書房、2017年12月

晏妮、邵迎建(共著)『戦時上海グレーゾーン 溶融する「抵抗」と「協力」』勉誠出版、2017

晏妮(共著)「翻弄される身体 『色・戒』と

『ラスト、コーション』宮脇俊文編『映画は文学をあきらめない』水曜社 2017

葛西周(共著)『植民地期台湾の映画 発見されたプロパガンダ・フィルムの研究』三澤真美恵編、東京大学出版会、2017

邵迎建(共著)『戦時上海のメディア 文化的ポリティクスの視座から』高橋博文・石川照子・竹松良明・大橋毅彦編 研文出版、2016

邵迎建(共著)『戦時上海 1937-45年 上海『孤島』末期及沦陷时期的話劇』高橋博文編、上海遠東出版社 2016

西村正男(共著)『増補改訂 戦争・ラジオ・記憶』貴志俊彦他編、勉誠出版、2015

星野幸代、楊韜、葛西周ほか7名(共著)『多角的視点から見た日中戦争：経済・思想・文化・民族の相克』馬場毅編(共著) 集広舎、2015年5月

邵迎建、星野幸代、西村正男ほか10名(共著)『上海租界の劇場文化 混淆・雑居する多言語空間』大橋毅彦編、勉誠出版、2015

邵迎建「从花木兰到张静娴 论电影《万世流芳》」『現代中文学刊』Vol.2015, No.3, 査読有、37-43頁, 2015
〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

星野 幸代 (HOSHINO YUKIYO) (名古屋大学・大学院人文学研究科・教授)
研究者番号：00303587

(2) 研究分担者

葛西 周 (KASAI AMANE) (東京藝術大学・国際芸術創造研究科・講師)
研究者番号：00584161

邵 迎建 (SHAO YINGJIAN) (徳島大学・大学院総合科学研究部・教授)
研究者番号：30375315

アン ニ (YAN NI) (日本映画大学・映画学部・特任教授)
研究者番号：70509140

楊 韜 (YANG TAO) (佛教大学・文学部・講師)
研究者番号：70509140

西村正男 (NISHIMURA MASAO) (関西学院大学・社会学部・教授)
研究者番号：80302652

(3) 連携研究者

なし

(4) 研究協力者

なし